



四中だより

平成28年12月22日号

荒川区立第四中学校

校長 宮沢 亨

～自分を成長させる一人の時間～

この冬休みにすべきこと。少なくとも2学期を振り返ること、平成28年を振り返ること、そして今の自分でいいのかということを考えるべきです。

これらの作業は一人一人が個人でやること、孤独の時間です。しかし、現代人は孤独を恐れます。皆さんはどうですか。孤独という言葉の印象はどういうものでしょうか？ひとりぼっちを連想しますか？

「ひとりぼっちは消極的な孤独」です。私が言う孤独はもっと「積極的な孤独」です。言い換えるなら「単独」とも言えるでしょうか。英語なら *solitude*。「ひとりぼっち」は寂しさが強調される *loneliness* ですか。ひとりぼっちの寂しさがこわいのでしょうか。

さて、生きていく中で人は勝負しなければならぬ時が必ずあります。その時は一人で自分自身を追い込み、立ち向かわなければなりません。今まさに、受験に直面している3年生ならそのことが理解できるでしょう。

「声に出して読みたい日本語」などの著書がある、明治大学教授の齋藤 孝先生は「一人の時間は、基本的に自分を鍛える時間、自分のもつ何かエネルギーみたいなものを技に変えていくための時間だ。」「群れて成功した人はいない。」と語っています。人は孤独なときにこそ力を伸ばすことができるということです。

世界中を見ても、さまざまな分野で一流と呼ばれる人は、スポーツ選手でもノーベル賞を受けた人も、すべて孤独の時間に自分のなすべきことを考え努力を続けた人です。

かのイチロー選手は「努力せずに何かできるようになる人を天才というのなら、僕はそうじゃない。努力した結果、何かができるようになる人のことを天才というのなら、僕はそうだと思う。人が僕のことを、努力もせずに打てるんだと思うなら、それは間違いです。」と語っています。

皆さんのような若い年代で、積極的な孤独の時間を持ち、孤独に対して良いイメージをもつことは大切だと思います。一人の時間に若いエネルギーを技に変えておけば、これからの人生に必ず役に立ちます。どのような技に変えるのかは一人一人で違います。この冬休みに一人で自分自身と向き合う「孤独の時間」を作り、考えてみてください。

そして、来る平成29年を飛躍の年にしてください。

目指す生徒像

- か** 感謝の心をもつ生徒
- き** 協力する心をもつ生徒
- く** 工夫する知恵のある生徒
- け** 健康な心と身体をもつ生徒
- こ** 言葉遣いを大切にする生徒